

令和5年度 東大阪市 LINE アンケート

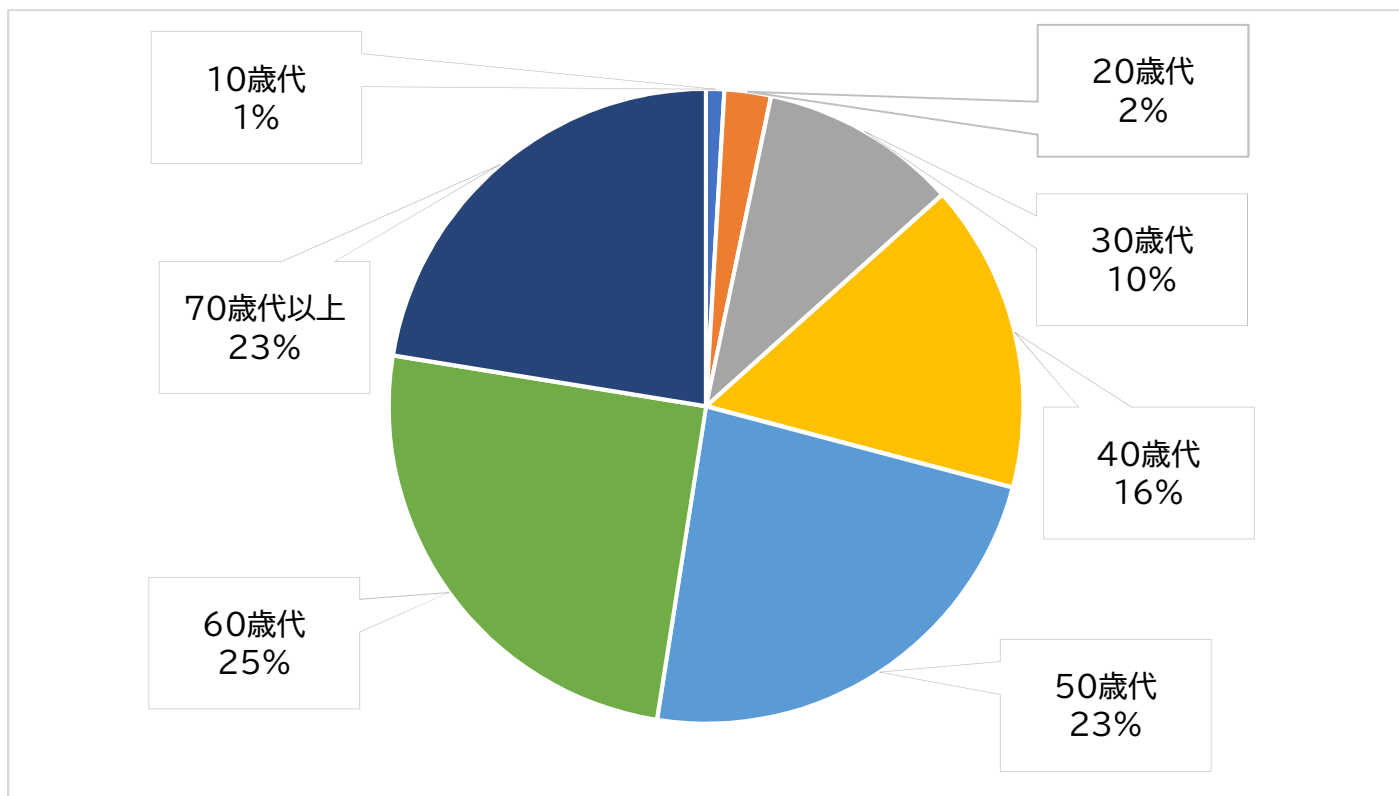
令和5年8月24日～8月31日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「市民プラザに関するアンケート」を実施しました。

目的

子育て世代や若者などが気軽に立ち寄れる魅力的な市民プラザにするためのアンケート。

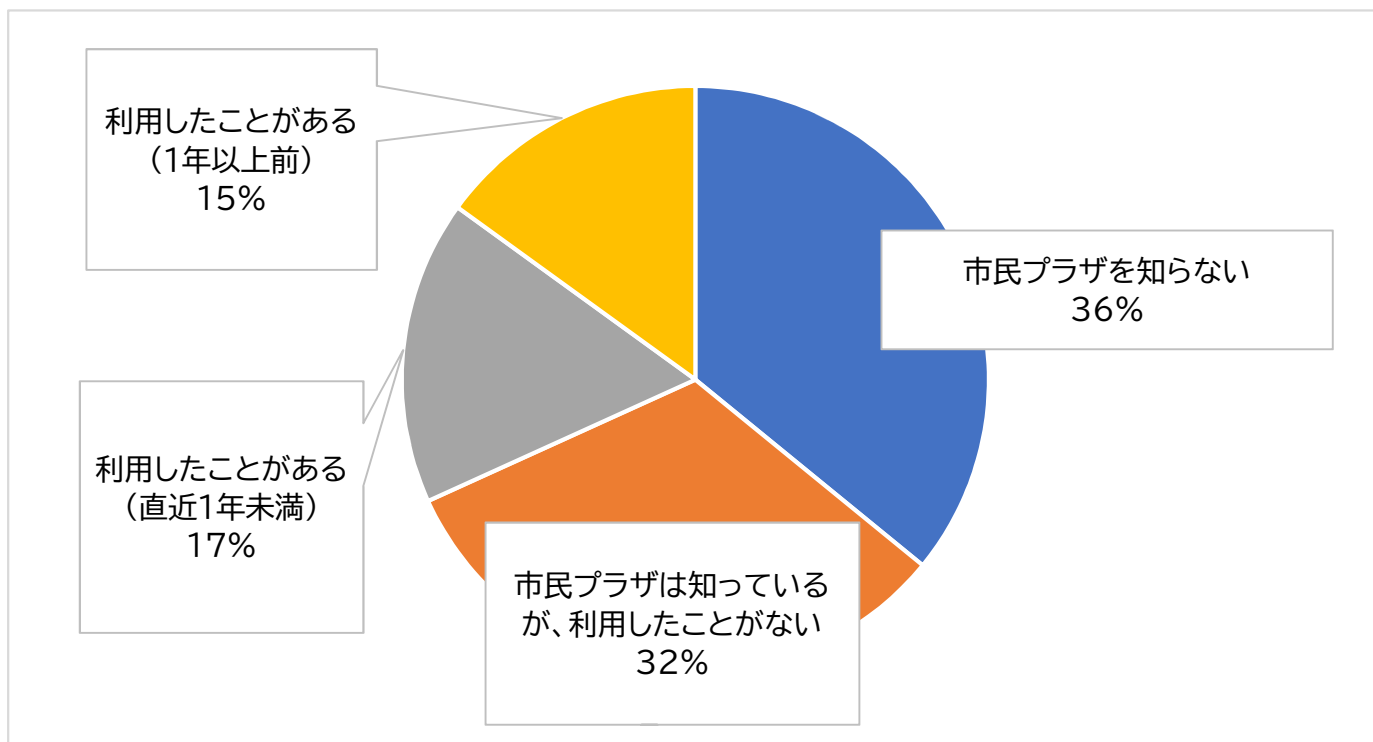
対象者	配信者数	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だち	39,309人	972人

問1. 年齢



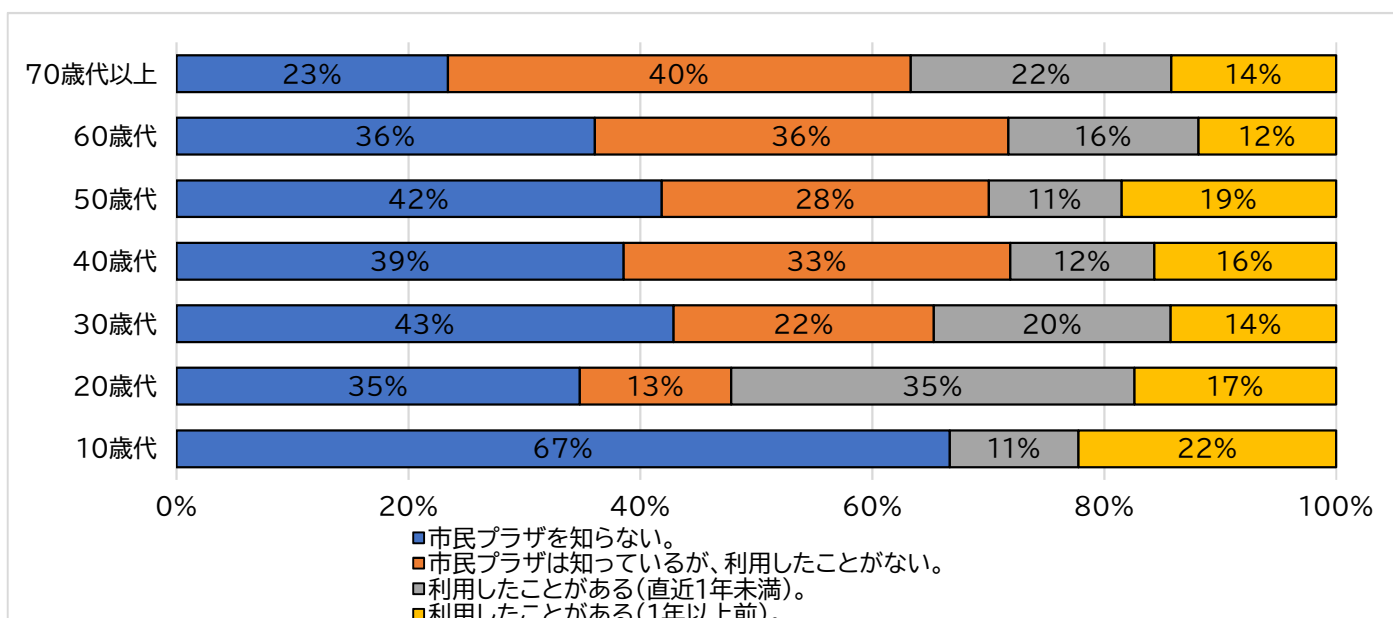
70歳代以上が23%、60歳代が25%、50歳代が23%、40歳代が16%、30歳代が10%、20歳代が2%、10歳代が1%となりました。

問2. 利用状況



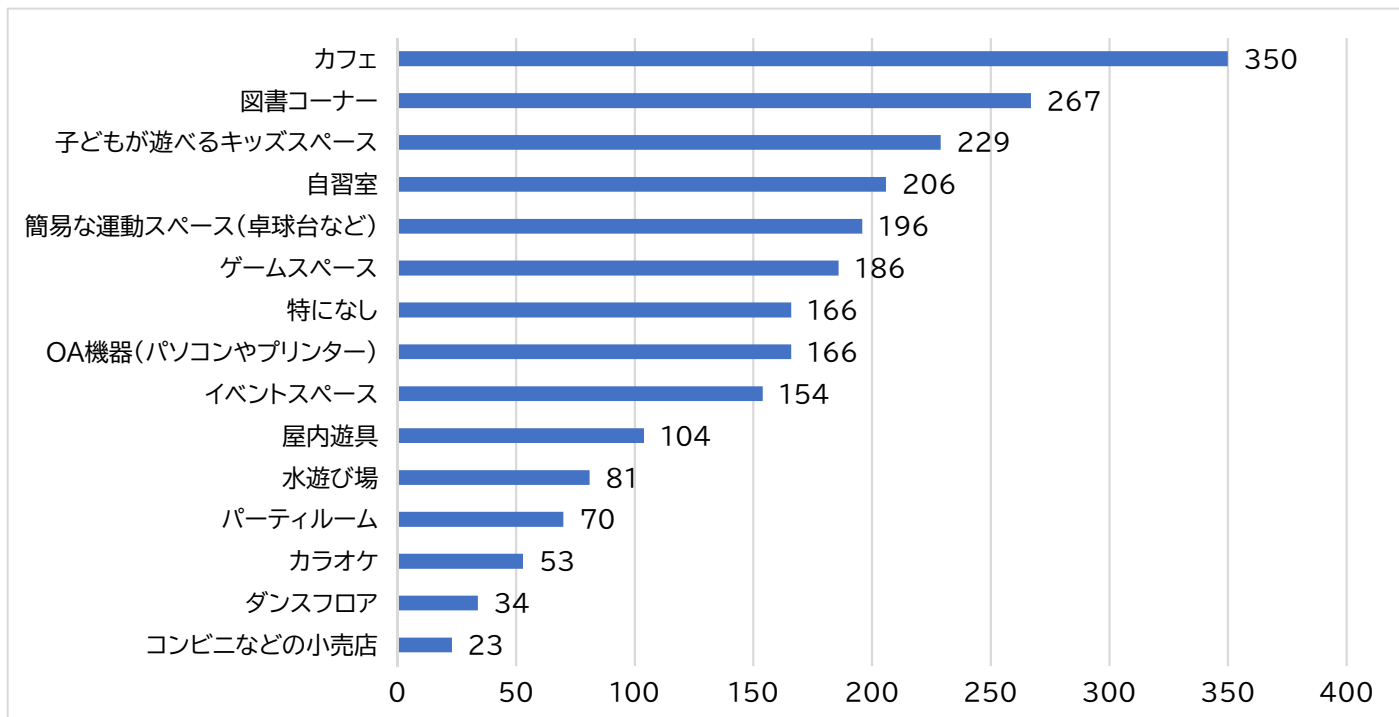
市民プラザの利用状況について、「利用したことがある(直近1年未満)」が17%に対して、「市民プラザを知らない」、「市民プラザは知っているが、利用したことがない」、「利用したことがある(1年以上前)」を合計した約 8 割の人は直近1年間で利用していないことがわかりました。

(年代別の割合)



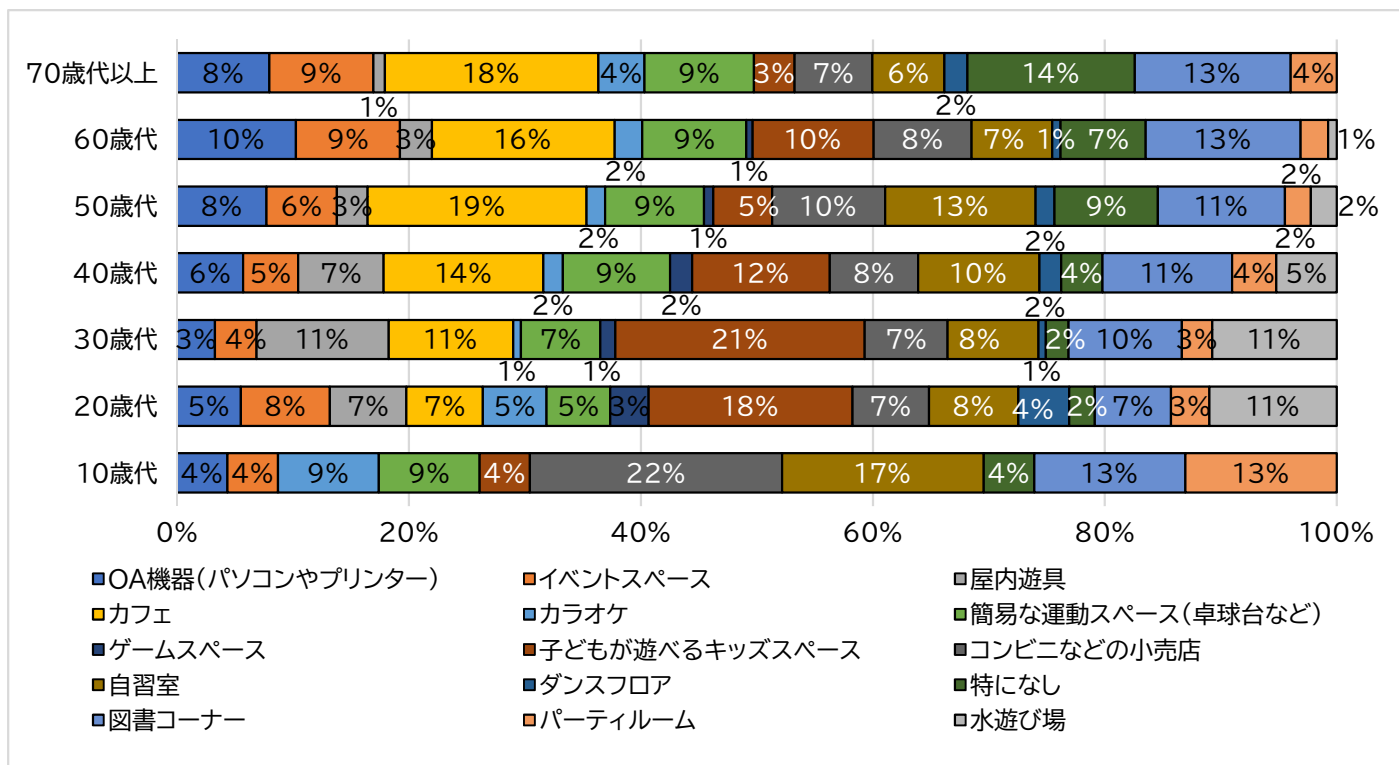
「市民プラザを知らない」と回答した人の割合が10歳代で67%と一番多く、30歳代から60歳代で「市民プラザを知らない」と「市民プラザを利用したことがない」と回答した人は、合わせて約 7 割であることがわかりました。

問3 市民プラザに充実してほしい設備(最大3つまで)



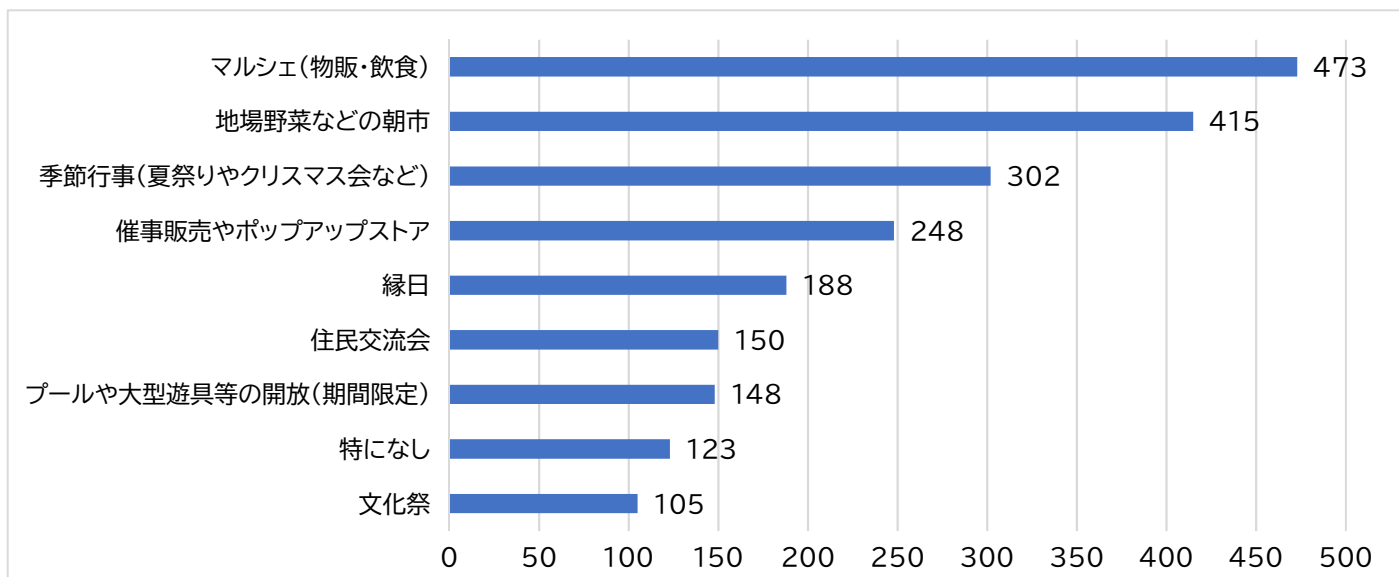
市民プラザに充実してほしい設備について、「カフェ」と回答した方が350人と最も多く、次いで「図書コーナー」が267人、「子どもが遊べるキッズスペース」が229人、「自習室」が206人となっています。

(年代別の割合)



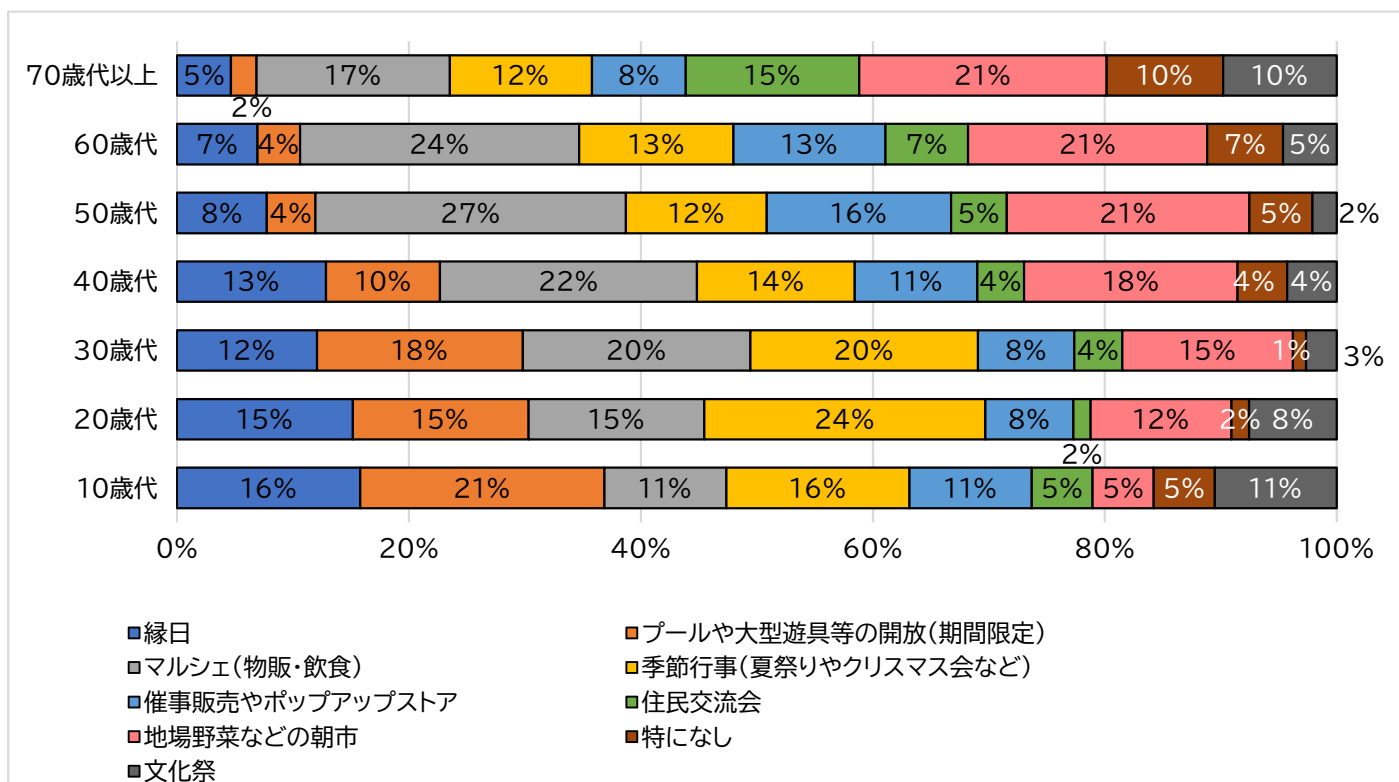
10歳代は、コンビニなどの小売店が22%、自習室が17%と他の年代と比較して突出して多く、20歳代～30歳の約2割が「子どもが遊べるキッズスペース」と回答しています。40歳代以上は、「カフェ」が最も大きな割合を占めました。

問 4 市民プラザで開催してほしいイベント(最大3つまで)



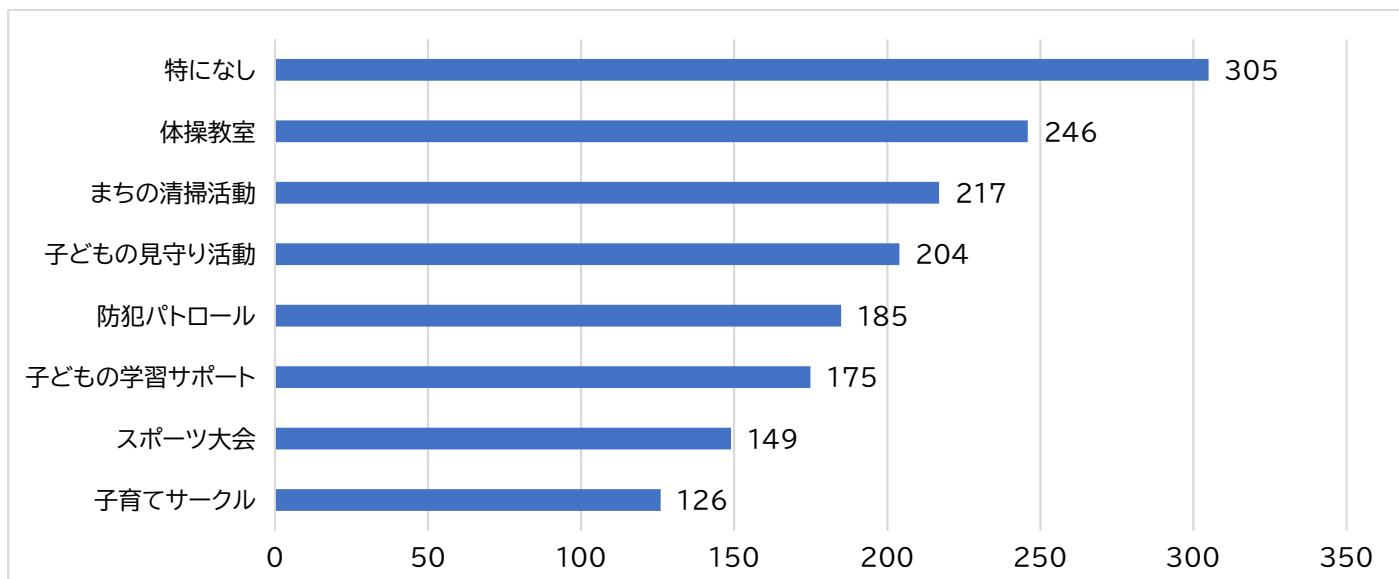
市民プラザで開催してほしいイベントについて、「マルシェ(物販・飲食)」と回答した方が473人と最も多く、次いで「地場野菜などの朝市」が415人、「季節行事(夏祭りやクリスマス会など)」が302人、「催事販売やポップアップストア」が248人となっています。

(年代別の割合)



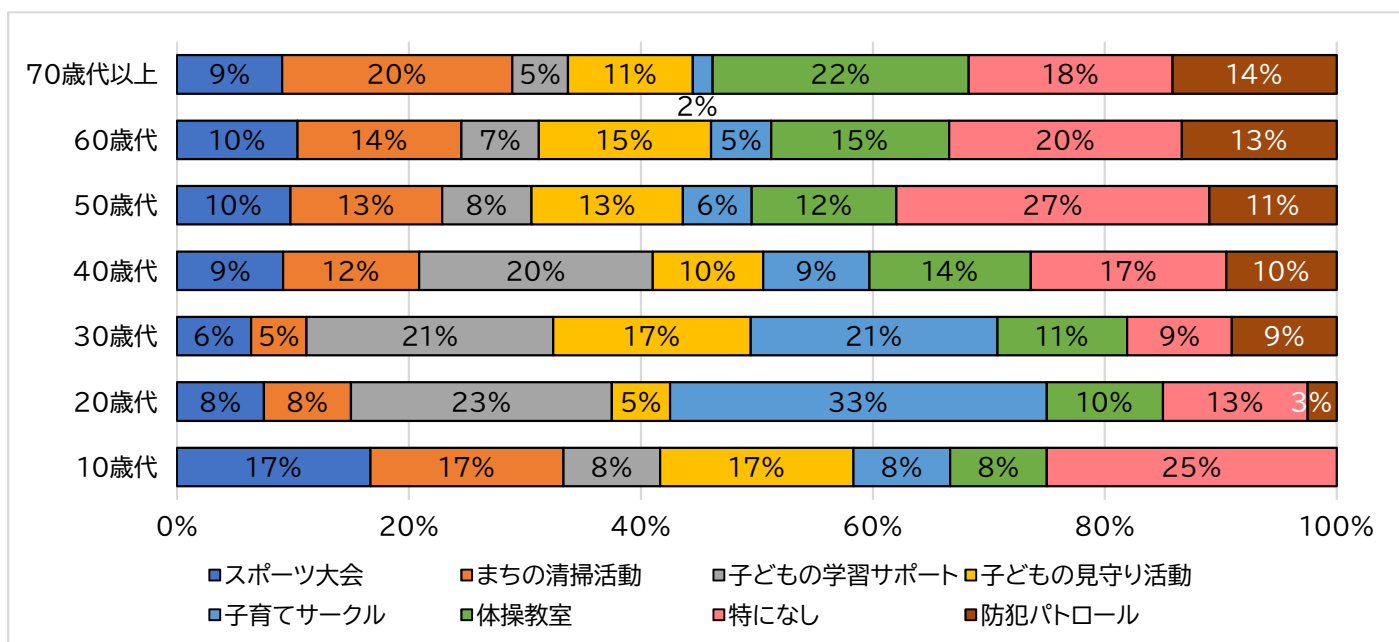
40歳代以上は、「マルシェ(物販・飲食)」と「地場野菜などの朝市」を合わせると約4割を占めました。また、30歳代以下は、「プールや大型遊具等の開放(季節限定)」と「季節行事(夏祭りやクリスマス会など)」を合わせると約4割を占めました。

問 5 地域の活動で興味がある活動(最大3つまで)



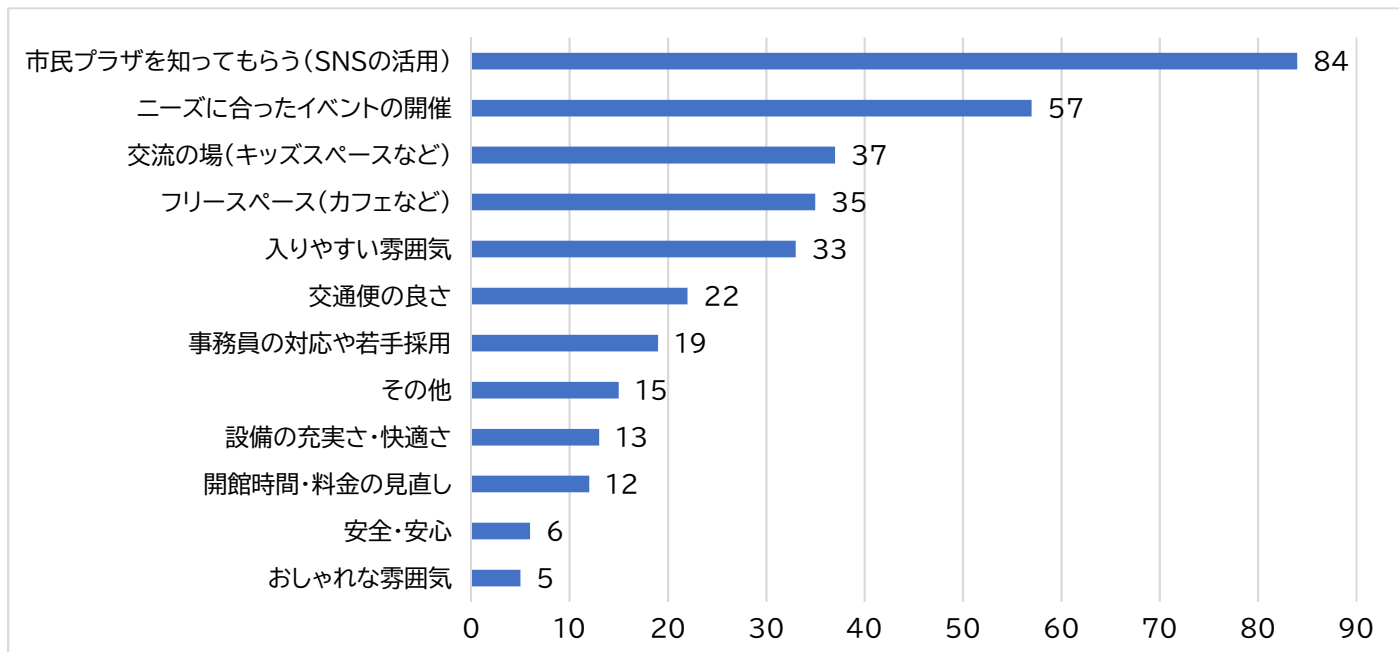
地域の活動で興味がある活動について、「特になし」と回答した方が305人と最も多く、次いで「体操教室」が246人、「まちの清掃活動」が217人、「子どもの見守り活動」が204人となっています。

(年代別の割合)



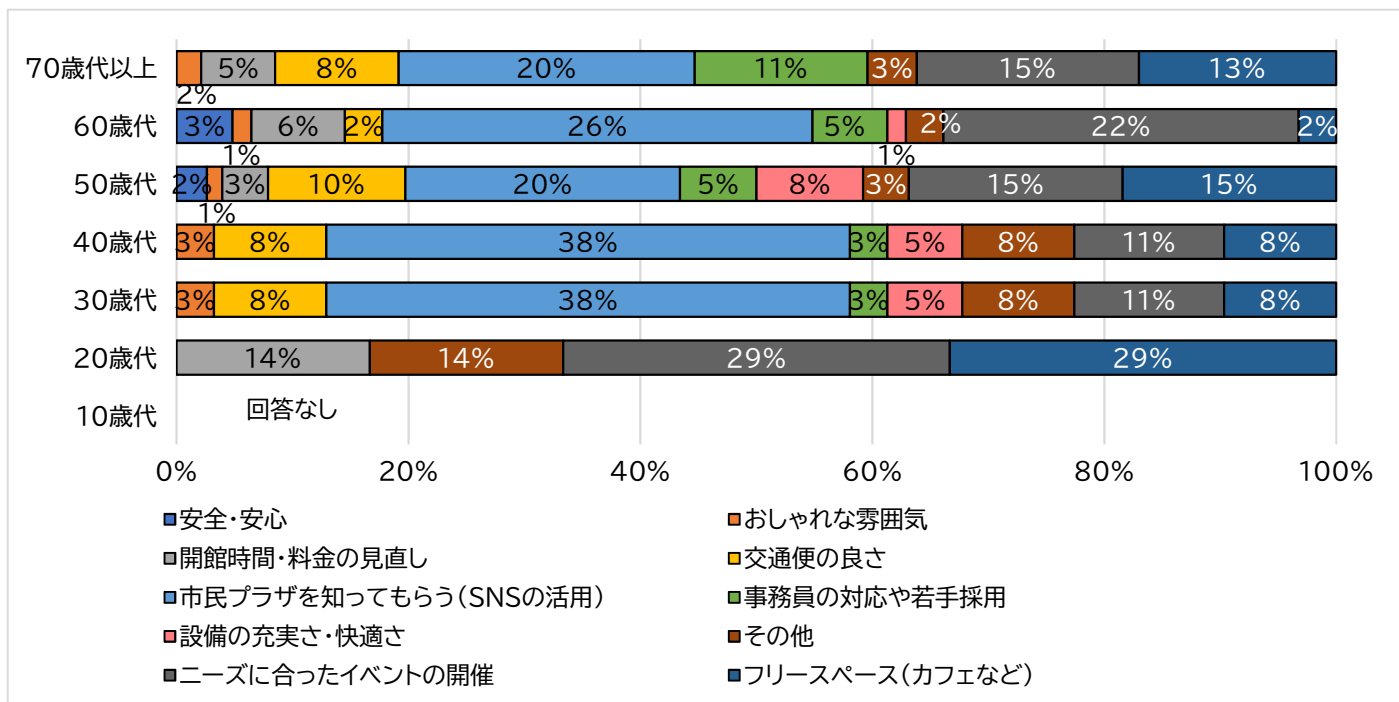
「子育てサークル」は、30歳代が21%、20歳代が33%であるが、70歳代以上が2%、60歳代以上が5%となっています。「子どもの学習サポート」は、30歳代が21%、20歳代が23%であるが、70歳代以上が5%、60歳代以上が7%となっています。

問 6 子育て世代や若者などが気軽に立ち寄れる魅力的な市民プラザにするために、何が重要だと思いますか。自由にご記入ください。



子育て世代や若者が気軽に立ち寄れる魅力的な市民プラザにするために必要なことについて、「SNSなどを活用して市民プラザを知ってもらう」が84人と最も多く、次いで「ニーズに合ったイベントの開催」が57人、「交流の場(キッズスペースなど)」が37人、「フリースペース(カフェなど)」が35人となっています。

(年代別の割合)



「市民プラザを知ってもらう(SNSの活用)」が30歳代、40歳代が38%、50歳代以上も20%を超えており、まずは市民プラザを知ってもらうことが必要だと考える方が多いことがわかりました。